

あとがき

令和元年、2年度の2年間かけて行われた、阿波学会海陽町総合学術調査の成果報告（紀要第63号）をお届けします。

今号より新たに編集委員長に就任し、編集副委員長、編集委員、事務局をはじめ関係の皆様の御協力のもと、予定通り無事に紀要を刊行することができました。

紀要第63号は通常原稿13本、特別寄稿6本の計19本の研究論文を掲載しております。海陽町は、徳島県南部に位置し、海あり山ありの豊かな自然と歴史文化環境にめぐまれた地域であり、そうした特色が本紀要に収められた各論文にも見ることができます。

また、巻末CDでは、本文中に掲載できなかった資料やカラー写真、表などのデジタルデータを収めております。

本紀要に掲載された情報は、この2年間の調査に基づくもので、令和2年にはいっての新型コロナウイルス感染症の予防対策に伴う活動自粛等により、対面での調査や調査期間に制限があるなかで、各調査班とそのメンバーが現地に赴いて精力的に調査を行った成果であり、この地域の特徴と経年的な変化を知る手がかりになるものと確信しております。今後とも県内各地での調査研究と紀要での成果報告を通して学術面からの地域貢献を継続することが阿波学会の使命と考えております。

末筆になりましたが、阿波学会紀要第63号作成にあたり、多大な御協力、御支援をいただきました海陽町および海陽町民の皆様、また関係各位に編集委員一同を代表して心より感謝申し上げます。

（阿波学会紀要編集委員長 中野 真弘）

阿波学会紀要第63号『海陽町総合学術調査報告』編集委員会

委員長 中野 真弘

副委員長 西山 賢一 石尾 和仁

委員 萩木 靖 磯本 宏紀 岡本 治代 岡山真知子 喜多 順三
仙波 光明 長澤 寛二 羽山 久男 萬宮千鶴子